

事業所における自己評価結果
(放課後等デイサービス 公表用)

公表：令和 7年 3月 27日

事業所名 児童発達支援 iらば 山手教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		弊所では、集団PGと個別PGの両方を取り入れております。個別PGの際はお子様に集中していただけるよう、パーテーション等で区切り、場所の構造化をはかっております。また、基準を上回った療育スペースを確保しております。	
	② 職員の配置数は適切である		4	現在スタッフが足りない中 本社スタッフに応援要請し、業務を適切に分担しております。	職員配置数に関しましては、スタッフ補充に向けて募集をかけており、実際に面談等も行ってまいります。 送迎業務を行える方がそもそも少ないのが現状となりますが、これからもご利用者様が増えていく事も考慮し、引き続きスタッフを増やして参ります。
	③ 事業所の設備等のついて、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	トイレの扉を引き戸にするなど、全室段差がないよう工夫しております。	バリアフリーに関して弊所は避難経路の観点から基本的には身体障碍の方を受け入れる事が難しい施設となっている為、補助便座の活用や手すりの設置を検討し改善に努めてまいります。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		4	毎朝毎夕ミーティングでお子様の特性発達段階課題ニーズを確認し、個別支援の計画・実行・確認分析・査定改善を続けています。 モニタリング個別支援計画などに合わせた支援をし、継続が必要か判断し改善を行っています。 一人一人に個別バインダーを作成し本人の課題やニーズに合わせたきめ細かな支援を行っています。	
	⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		4	親御さんにアンケート調査を実施し、集計→分析→改善点を洗い出し今後の具体的な業務改善内容を事業所内で検討いたしました。集計結果はHPでも公表をさせていただきます。	
	⑥ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		4	親御さんにアンケート調査を実施し、集計→分析→改善点を洗い出し今後の具体的な業務改善内容を事業所内で検討いたしました。集計結果はHPでも公表をさせていただきます。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		現在、第三者評価は受けていませんが必要に応じて検討いたします。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		4	毎月複数、年間では数十の研修を開催実施し資質向上を目指しております。 強度行動障害、児童発達支援管理責任者等の研修は希望者が受けることができます。 毎月研修を複数計画し行っています。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している		4	親御さんやご本人の思い・課題・ニーズを抽出し各自の特性や発達段階を鑑みて、将来の自立への支援に役立つ個別支援計画を作成しております。	
適切な支援の提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		4	標準化したアセスメントシートを活用しています。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている		4	スタッフ同士活動プログラムを話し合って立案しています。 立案はトップダウン形式だが、必要な情報は全員に伝わっていると認識しています。	全員が集まってミーティングを行う時間の確保が難しいので業務量の調整やミーティングを行う時間の再検討を行い改善に努めます。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している		4	繰り返し学習のみならず、SSTトレーニングアサーショントレーニングは常に新しい教材を用意しております。 本を購入したり、タブレットの台数を増やして、待機時間を解消しています。 粗大運動の内容や掛け算お金時計SSTトレーニングアサーショントレーニングの内容を日々更新しながらプログラムを行っています。	
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか		4	長期休暇中は、14時に来所する児童が多く、個別の時間に運動療育や紙芝居などを挟み、切り替えられる工夫をしています。	今後は平日・休日・長期休暇は、デイリープログラムや季節のプログラムをご用意し、季節に合わせた行事、日本の文化への理解を深めるプログラムを設定を検討いたします。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		4	契約更新時に聞き取りをおこない、利用者・保護者のニーズを確認しています。 成長段階や個々の状況を把握し、職員間で話し合いニーズの分析をおこなった上で立案しています。	

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	朝夕のミーティングを通して、当日に変更があった場合はその都度打ち合わせをして確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	朝夕ミーティングで行っています。夕方ミーティング時に、振り返りを行いノートに記入して共有を行っています。	
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	日々記録し、個々でまとめている。それを用いて、個別支援計画モニタリングに反映できている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	6か月以内にはモニタリングを行い、アセスメントし、達成度の評価及び新たな課題抽出を行い、個別支援計画の更新を行っております。	
	19	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4	自立支援と日常生活の充実のための活動で5領域を完全網羅したプログラム提供に力を入れています。5領域にあわせたプログラムを実施しております。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	相談支援専門員たちとの綿密な連携情報共有ができております。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	適時支援級や放課後キッズと連絡し必要事項の連絡・共有・確認を行っております。送迎サービス開始に際しては事前に親御様に送迎添乗員一覧表を御渡し、放課後キッズに情報共有をお願いしております。	
	22	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		弊所は医療的ケアを必要とする児童のお預かりをしておりません。よってナースを配置していません。該当児童無	該当児童無
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	お子様のご様子は可能な範囲でお通いになっていた事業所のモニタリング結果を共有していただき個別支援計画作成の参考資料として活用させていただいております。併行通所されておられる場合は他事業所と連携し弊所の個別支援計画を共有頂き足並みのそろった支援を目指しております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		今のところは該当児童無	
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	中部療育センターにてTEACCHプログラムの研修を受けています。子どもたちは構造化された環境の中で適切な支援を受けることができます。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	送迎時にキッズの先生にその日のご様子などを共有し合っています。	
	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4		人員に余裕が出たら参加の予定です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	4	些細な気づきでも、日々保護者に伝えていきます。送迎時やHUGなどで、お子様の様子状況を共有しあっています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4	個別でご相談があった場合にはペアレントトレーニングとして具体的な支援方法等のアドバイスをさせていただいております。HUGだけでなく、児発管が電話で保護者とコミュニケーションを取る機会が多いので電話での助言も行っております。	
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	契約時に行っています。	
	31	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	保護者からの悩みなどに対し適時相談に応じ電話面談など行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		今後予定しております。

との連携関係機関

保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	苦情を受けた際のマニュアルや体制を整備しており、定期的に職員の研修を行なっております。Jらぼでは、万が一苦情などのご連絡を受けた際は、まず現状を把握し職員へのヒヤリグ・事実確認を行います。その後本社に報告し、対策・改善の為の会議を行い、謝罪・ご報告をさせていただきます。少々お時間を頂きますが、誠心誠意を対応いたします。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		会報等は発行しておりません、避難訓練や日々の活動概要、また緊急時連絡体制等をお手紙以外のHUGやホームページでお知らせしております。
	③⑤	個人情報の取扱いに十分注意している	4	支援中は個人の携帯は持ち込み禁止とさせていただき個人情報流出のリスクを最大限に抑えています。職員間で徹底しています。HUGに載せる写真に他児の個人情報を保護したものを共有しています。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	合理的配慮の為、必要はお子様にはカードやタブレットでコミュニケーションを図っています。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		非日常と混雑した状態に対するストレス耐性が低めのお子様方が多いため事故が無いように慎重に検討いたします。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員には定期的に研修及び訓練を行っております。親御様には必要であれば周知しております。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	年に二回避難訓練実施しています。その様子をHUGホームページで保護者の方に共有し、備蓄品の確認なども定期的に行っています。	
	④⑩	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	食物アレルギーには対応しておらず、独自のおやつを持参していただいております。児発ではおやつなどの時間は設けていません。水分は水筒を持参してもらっています。	独自のおやつを持参していただいておりますがその他の改善策は検討していきます。
	④⑪	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	作成保管しております。	
	④⑫	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	年二回の研修と年三回の定例会実施しております。定期的に研修を行っています。	
	④⑬	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	契約時に説明し同意書を作成しています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。